

寄稿

「農林水産の資源に磨きをを！」

小田原市長 加藤 憲一

いま小田原では、地域経済活性化に向け、豊富な農林水産分野の資源とそのポテンシャルを具体化する取り組みが進んでいます。

農産分野では、主力である果樹栽培の強化と高付加価値化が必要。6月下旬、国内の梅の最大産地である和歌山県みなべ町を訪ね、本場の梅産産を視察。また、

新たな品目として可能性のあるオリブを研究すべく、小豆島も訪問。いずれもその成果を市内農家の皆さんと共有。研究し、今後の事業化を目指します。更に、7月にはフルーツ王国である小布施町を訪ね、フルーツ繋がりによる今後の交流に向け市村良三町長と構想を練り始めました。



かとうけんいち

1964年小田原生まれ。小田原高校、京都大学法学部卒。経営戦略コンサルティング会社、民間教育団体、農業、オービックビル事務局長、有限会社あしがら総研代表などを経て、現在小田原市長を務める。妻と子ども2人の4人家族。

林産分野では、5月に「おだわら木材流通センター」が開設され、様々なパイロット事業が加速化しています。市役所総合受付カウンターの木質化、赤ちゃんが使う木製おもちゃの産地化を目指す「ウッドスタート事業」、地場木材を使う住宅モデルの開発、それに先立つ「いこいの森」でのバングロー建設などが、熱心な民間団体の皆さんの参画もあり、順調に進んでいます。

水産分野では、小田原の多彩な水産関係者による協議会が発足、「小田原の魚がすばらしいワケ」と題した漁蓄集作成など、ブランド化への取り組みが活発化。8月上旬には、国の「食のモデル地域構築計画」(产品中心型、水産物)にて全国5か所中の一つに認定され、財政支援を受けて活動が充実する予定。このような動きを、将来を見据えつつ着実に育て、小田原の地域経済の土台をしっかりと強化していきます。

私が変わる・小田原が変わる

おだわらを拓く力
(加藤けんいち後援会)

小田原市栄町2-13-1-2F

TEL.0465-21-5260

(月・水・金 10:00~17:00)

http://www.katoken.info